

夏休みおすすめ図書 ～小学校5・6年生向け～

いのちつぐ「みとりびと」シリーズ「恋ちゃんはじめでの看取り」

いのちつぐ「みとりびと」シリーズ「月になったばあちゃん」

いのちつぐ「みとりびと」シリーズ「いのちのバトンを受け取って」

3冊とも 國森 康弘 // 写真・文 農山漁村文化協会 933ク

大切な家族の死に向き合って、看取る人たちの姿を実際の写真で伝える本です。

「発電所のねむるまち」

マイケル・モーパーゴ // 作 ピーター・ベイリー // 絵 あかね書房 933モ

イギリスのブラットウェルに住むマイケルは、友達に突き飛ばされケガをし、そのときケガの手当てをしてくれたペティグルーさんと仲良しになります。彼女は亡くなった夫アーサーの思い出とともに湿地に鉄道客車を置き、ロバや犬たちと一緒に生活しています。その湿地に、原子力発電所の建設計画が持ちあがります。

これまで仲良く生活していた村は建設をめぐってバラバラにされ、マイケルたちも村を出ていきます。それから50年後、大人になったマイケルが村に戻り、自分の目で村と発電所の姿を確かめます。

「林業少年」 掘米 薫 // 作 スカイエマ // 絵 新日本出版社 913ホ

代々続く山持ちの大沢家の長男・喜樹は、祖父・庄蔵の期待を一身に受けていた。家族から「干物」と陰口を叩かれる庄蔵だが、木材取引の現場では「勝負師」に変身する。百年杉の伐採を見届け、その重量感に圧倒された喜樹は…。

「ふたつの名前で愛された犬」

平野 敦子 // 作 こばようこ // 絵 学研パブリッシング 645ヒ

17年間飼い主を待ち続けた犬がいた。45年間はぐれた犬を思い続けた人がいた…。茨城県の小さな町で実際にあった、伝説の忠犬をめぐる人と犬とのきずなの物語。

「し・ミゼラブル」

ヴィクトル・ユーゴー // 作 清水 正和 // 編・訳 福音館書店 953ユSJ

わずか1個のパンを盗んだことで19年間牢獄につながれたジャン・バルジャン。彼はミリエル司教と出会い全く違う人生を歩みはじめます。

「三国志 子ども版 1～10」

羅 貫中 // 原著 生越 嘉治 // 文 あすなろ書房 923ラ

3世紀の中国の大地を舞台に繰り広げられる壮大な歴史物語。劉備（りゅうび）・関羽（かんう）・張飛（ちょうひ）の義兄弟の心温まる友情と正義感、熱い野望を抱き天下をめぐる火花を散らします。

「狐笛（こてき）のかなた」 上橋 菜穂子 // 作 白井 弓子 // 絵 理論社 913ウ

ひとの思いが聞こえる「聞き耳」の才を持つ少女・小夜が幼い日に助けた子狐は、恐ろしい呪者に命を握られ「使い魔」にされた霊狐だった。森陰屋敷に閉じ込められた少年・小春丸、そして小夜と霊狐・野火。彼らの運命は？

「弁当づくりで身につく力」 竹下 和男 // 著 講談社 374タ

2001年に香川県の小学校で始まった「弁当の日」。弁当づくりをとおして社会や自分の生活を見つめ直す子どもたちの姿を伝える。

「ぼくの図書館カード」

ウィリアム・ミラー // 作 グレゴリー・クリスティ // 絵 斎藤 規 // 訳 新日本出版社 Eク

黒人差別が続いており、図書館があっても黒人の利用が禁止されていた1920年代のアメリカ。そこに住む黒人の少年は、「自由」を求めて仕事を続けます。ある日、職場で働く白人の仲間から図書館カードを借りて本を借りに行くと、そこには・・・。

「パンプキン！ 模擬原爆の夏」

令丈 ヒロ子 // 作 宮尾 和孝 // 絵 講談社 913レ

身近にあっても見すごしていた戦争の大きな傷あとを、夏休みの自由研究で調べてみると…。1945年、終戦の年に、原爆投下の練習のため模擬原爆・通称パンプキン爆弾が日本各地に落とされていた事実が……。

「バアちゃんと、とびっきりの三日間」

三輪 裕子 // 作 山本 祐司 // 絵 あかね書房 913ミ

夏休みをのんびり過ごしていた小学5年生の祥太のところに、バアちゃんを3日間だけ預かることになります。祖母との生活の中で祥太は少しずつ成長していきます。

「のっほのサラ」

パトリシア・マクラ克蘭 // 作 金原 瑞人 // 訳 福武書店 933マ

緑の草原をぬけて、遠い海のある土地から私たちのうちにサラがやってきました。サラはパパの新しいおくさんです。サラはいろんなことを教えてくれました。そして、ある日サラは町に行ってしまいました。わたしと弟はとっても心配になりました。もう帰ってこないんじゃないかしら…。

「新ちゃんがないた！」

佐藤 州男 // 作 長谷川 集平 // 絵 文研出版 913サ

新ちゃんは足が悪い。でもおれの一番の親友だ。足が悪いから、4年生までは、遠い学校に行っていたが、これからは、おれと同じ小学校に通うことになった。こまったこと、つらいこと、いっぱいあったかえど、新ちゃんはずっと泣かなかった。

「こおりついた街で」

ヤーブ・テル・ハール // 著 高柳 英子 // 訳 祐学社 949ハ

ナチスに包囲されたレニングラード。少年ボリスは食べ物を求めて、幼なじみの少女ナージャと、ロシア軍とドイツ軍がせめぎあう〈無人地帯〉に出かけた。そこで、敵のドイツ軍に捕まってしまった、2人は、兵隊の思わぬ行動に驚く。なんと、白旗を持って、ロシア軍のところまで送り届けてくれたのだ…。

「おじいちゃんがおばけになったわけ」

キム・フォップス・オーカリン // 文 エヴァ・エリクソン // 絵 あすなろ書房 Eエ

エリックの大好きなじいじが死んじゃった。「死んじゃったらどうなるの?」と、エリックはママに聞いてみます。すると「天国に行く。」と言う。パパに聞いてみると「土になる。」と言う。でもエリックはどちらもピンときません。

そんなふうを考えているとある晩、エリックの部屋にじいじがいました。「この世に忘れ物がある人はおばけになる。」と、本に書いてある。エリックとじいじは二人で何を忘れているのか一生懸命考えます。

「3人のパパとぼくたちの夏」 井上 林子 // 著 講談社 913イ

おとうさんへ

もうイヤだ! ぼくは家出します。せんたくもゴミも皿洗いも、ぜんぶぼくだ。

おとうさんが家事をサボらないって言うまで、ぜったい家に帰りません!

置き手紙をのこして家を出ると、リボン姉妹のひなちゃんとさなちゃんに出会った。ふたりにはおかあさんがいなくて、おとうさんだけなんだって。ぼくとおんなじだ。でも、朝パパと夜パパのふたりいるという……。それって一体、どういうこと?

「災害救助犬レイラ」 伊上 こみち // 著 講談社 369イ

すぐれた嗅覚をいかし、生存者を捜し出す災害救助犬レイラ。

2011年3月11日に起きた東日本大震災で、いち早く被災地へ駆けつけ、目をそむけたくなるような光景の中、指導主である村田忍さんと捜索活動を行った壮絶な一週間をつづった一冊。

「スパイになりたいハリエットのいじめ解決法」

ルイーズ=フィッツヒュー // 作・絵 講談社 933フ

さて、この物語の主人公ハリエットは小学校6年生の女の子です。(中に描いてある絵では男の子のように見えますが) 彼女の趣味はスパイ。いろんなことを調べて、ノートブックに書いています。あるとき、そのノートを友達に読まれてしまいます。もちろん、友達のことたくさん書いてあるのです。そこで、ハリエットはクラス全員から仲間はずれにされてしまいます。そして…。☆本当のこと、思いやり、友達、いじめ…たくさんつまっている名作です。この夏にぜひ読んでほしい!

「ぼくたちのリアル」

戸森 しるこ // 作 佐藤 真紀子 // 絵 戸森 しるこ // 著 講談社 913トモ

幼なじみの秋山璃在は、サッカーが得意で足が速くて、勉強も5番以内に入る学年イチの人気者だ。服のセンスがよくて、顔もふつうにかっこよくて、性格は明るくてお調子者。リアルリアルの周りには、いつもたくさんの仲間がいた。そんな華やかキャラのリアルだけど、じつは、ある悩みをかかえていた。4年前の夏のはじめ、あの事故があつてからだ。ぼくは今まで、リアルとその話をするとはなかった。でも5年の新学期、リアルと同じクラスになってから……。

「約束の庭」

ゆうき えみ // 作 佐藤 真紀子 // 絵 ポプラ社 913ユ

転校生の咲は、学校帰りに図書館で本を読んでいた。誰かの視線を感じて顔をあげると、クラスメイトの丈君がいた。話しをしたことがないのに、持っていたアンモナイトの化石を見せてくれた。翌日、教室で会う丈君はまるで別人。本当に同一人物なのだろうか？
家族の絆を描いたファンタジーです。

「義経千本桜」

橋本 治 // 文 岡田 嘉夫 // 絵 竹田 出雲他 // 原作 ポプラ社 912ヨシ

平家との戦いに勝利した源義経は兄・頼朝にその報告に向かうが、頼朝への謀反の疑いをかけられ、反逆者として追われる身となってしまう。追手から逃げる義経の前に、滅ぼしたはずの平家の武士が現れる。危機的状況の中、静御前が宝物・初音の鼓を打つと、不思議なことが起こる。歌舞伎の人気作を分かりやすい現代文に訳した本です。

「精霊の守り人」

上橋 菜穂子 // 著 講談社 933ウ

バルサという女性が主人公の ファンタジーなストーリーです。
TVでもアニメやドラマ化された 守り人シリーズです。
来年にも 2シーズンの放送が予定されています。その前に上橋菜穂子さんの世界を読んでみては どうでしょうか。